



ApeosPlus Cards R Uploaderを利用した名刺登録

～ScanSnapからCards Rへダイレクトに登録～

2022年3月

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

FUJIFILM
Value from Innovation

**NEVER
STOP**

目次

- 1. 準備 … 3
 - 1-1. 概要
 - 1-2. 旧バージョン(1.6.2以前)のCards R Uploaderをご利用の方
 - 1-3. Cards R Uploaderの動作環境
 - 1-4. Cards R Uploaderのインストール
 - 1-5. ScanSnap ManagerまたはScanSnap Homeのインストール
 - 1-6. プロキシサーバーの設定方法
 - 1-7. プロキシ認証の設定
 - 1-8. 名刺の準備
- 2. 利用者の登録 … 16
- 3. スキャン設定 … 18
 - 3-1. 名刺の所有者を設定
 - 3-2. ICカードのユーザー登録
 - 3-3. タグの登録
 - 3-4. 過去名刺として登録
 - 3-5. 公開/非公開を設定
- 4. 名刺のスキャン …23
- 5. アプリケーションの設定 …28
 - 5-1. 利用者の登録状況
 - 5-2.アプリケーションの起動時に取得する情報
- 6. 困ったときは (Q&A) …31
 - 6-1.利用者登録・クリア時のエラーについて
- 7. Appendix : リリースノート …32

ApeosPlus Cards Rの機能については、以下のURLのヘルプをご参照ください。

<https://cardsr-help.fujifilm.com/ja/cardsr/>

※ApeosPlus Cards R画面右上の[グローバルメニュー]アイコン→ [ヘルプ]

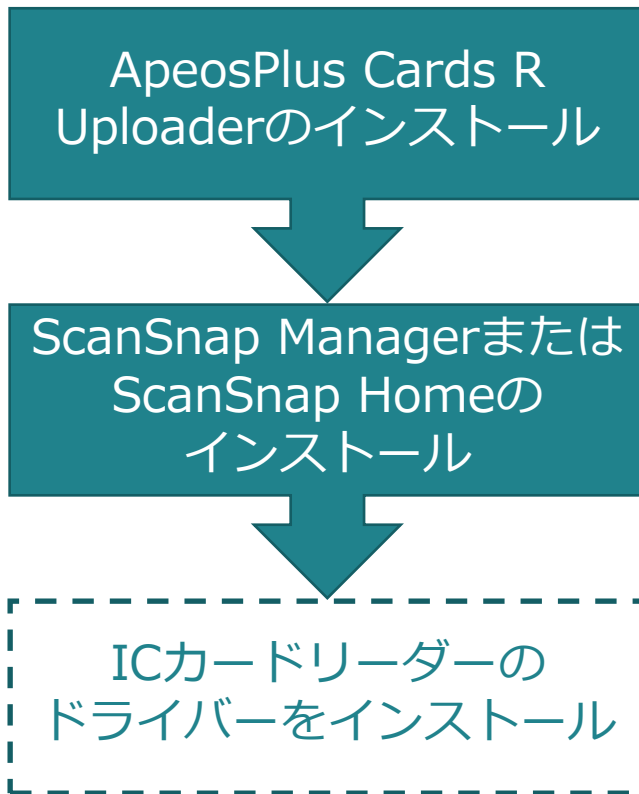
メールでのお問い合わせは、dge-fb-skydesk-support@fujifilm.comまでお願いいたします。

1. 準備

1-1. 概要

ApeosPlus Cards R Uploader（以下、Cards R Uploader）を使用すると、ScanSnapでスキャンした名刺情報を直接ApeosPlus Cards R（以下、Cards R）に登録することができます。

また、PCにICカードリーダーを接続すれば、ICカード対応の社員証をかざして名刺の所有者を指定することができます。



ScanSnapでスキャンした画像をCards Rへ自動でアップロードするためのアプリケーション。下記Webサイトよりダウンロードできます。

<https://cardsr-help.fujifilm.com/ja/cardsr/cardsruploader.html>

ScanSnap用ドライバーも必要です。（株式会社PFU提供）

<https://scansnap.fujitsu.com/jp/dl/>

- ・ ご使用PCの機種とOSに合わせてダウンロードします。
- ・ ScanSnap用本体は、iX1600、iX1500、iX1400、iX500、S1300iをサポートしております。（2022年3月現在）

ICカードリーダーを接続する場合は、ご利用になるICカードリーダー用ドライバーをご用意ください。

※ScanSnap、ScanSnapロゴは、株式会社PFUの日本における登録商標または商標です。

1. 準備

1-2. 旧バージョン(1.6.2以前)のCards R Uploaderをご利用の方

- 現行バージョンのCards R Uploaderをインストールした場合、旧バージョンのCards R Uploaderは自動的にアンインストールされます。
- 旧バージョンのCards R Uploaderの利用者登録情報はクリアされます。現行バージョンのCards R Uploaderをインストール後、利用者の登録をお願いいたします。
- 未送信画像は引き継がれません。旧バージョンのCards R Uploaderで未送信画像がある場合は、必要な名刺画像をアップロードしてから、現行バージョンのCards R Uploaderをインストールしてください。

1. 準備

1-3. Cards R Uploaderの動作環境

- Cards R Uploaderの動作環境は下記の通りです。

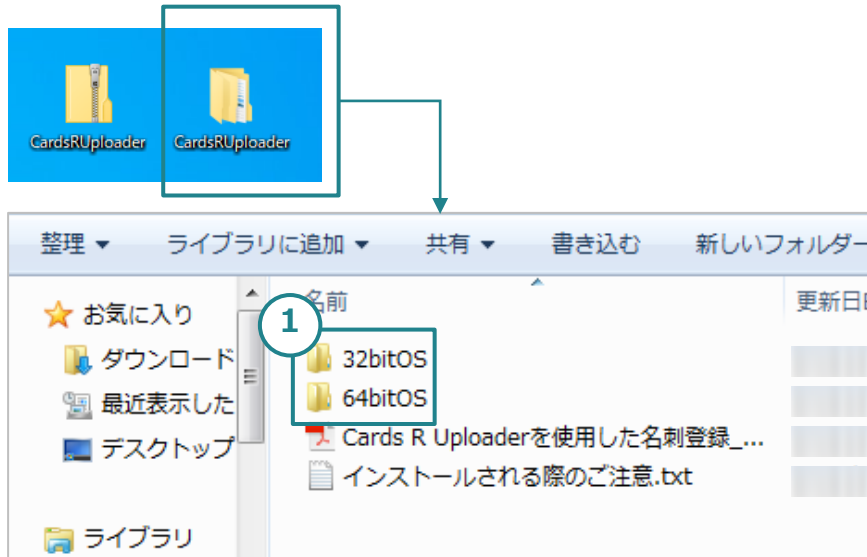
項目	内容
対応OS※1	Windows 11 (64ビット) 日本語版 Windows 10 (64ビット/32ビット) 日本語版 Windows 8.1 (64ビット/32ビット) 日本語版
CPU※2	1GHz以上の32ビット(x86)または64ビット(x64)プロセッサー
ハードディスク容量※2	インストール時には3MB以上の空き容量が必要※3
メモリー容量※2	32ビットOSの場合、1 GB 64ビットOSの場合、2 GB
ディスプレイ	1280×768ピクセル以上、フルカラー
ScanSnap 本体	iX1600、iX1500、iX1400、iX500、S1300i 【注意】USB接続のみサポートします。無線LAN接続はサポートしません。
ScanSnap ソフトウェア※1	ScanSnap Home あるいはScanSnap Manager

- ※1 提供元のベンダーがサポート終了している動作環境につきましては、サポート対象外となります。
- ※2 各OSの推奨値に準拠します。
- ※3 .NET Framework 4.6.2以降がインストールされていない場合は、これに加えてさらに4.5 GB以上の空き容量が必要です。

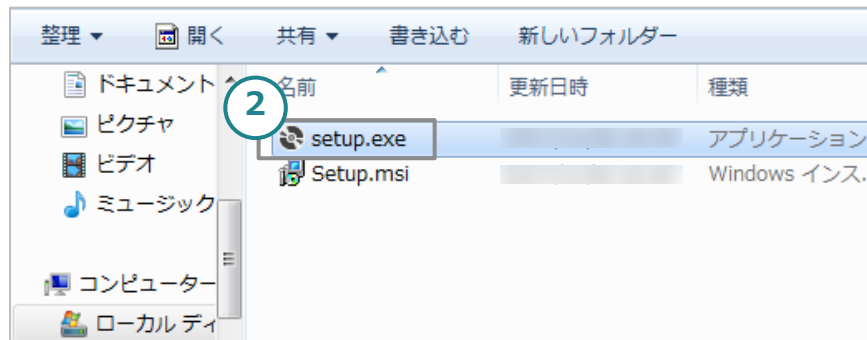
1. 準備

1-4. Cards R Uploaderのインストール (1/4)

※ インストールは、Windowsの管理者権限を持つアカウントで行ってください。

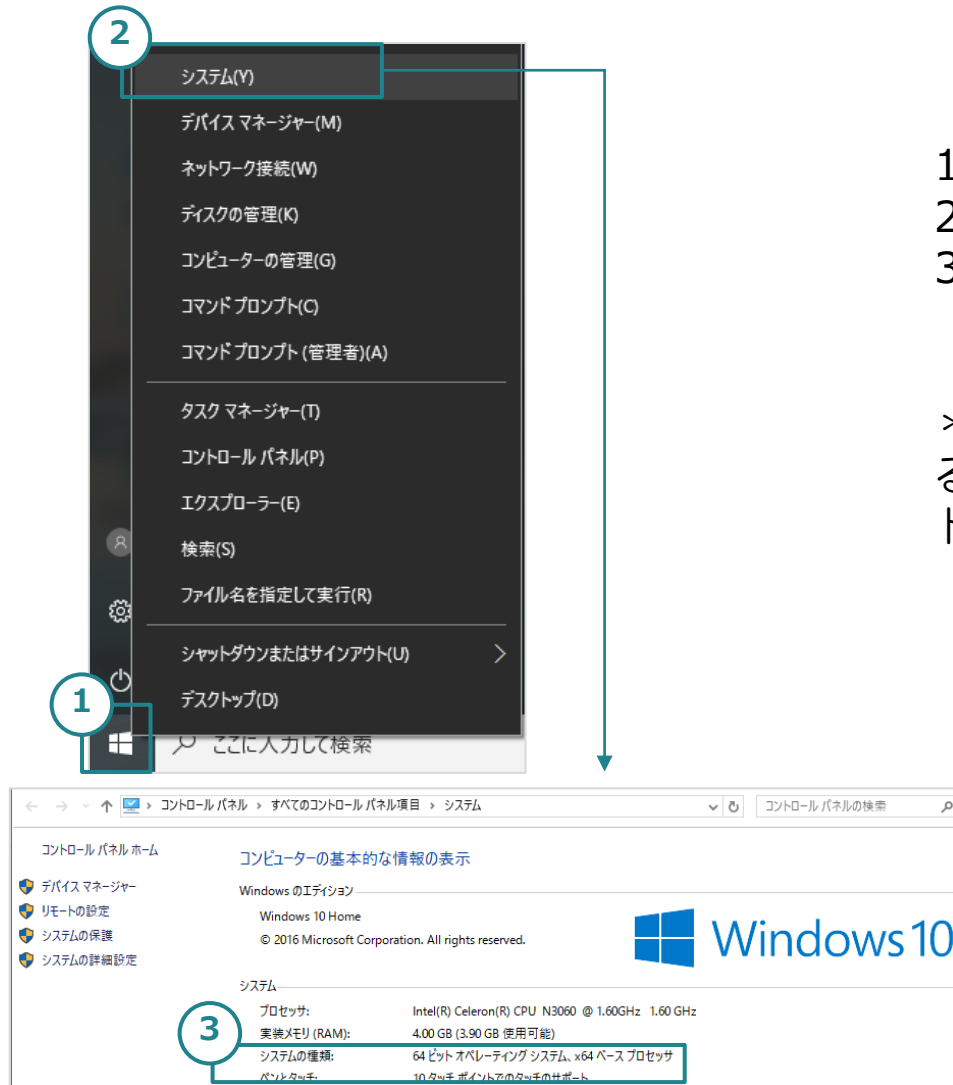


1. ダウンロードしたzipファイルを解凍し、[CardsRUploader]フォルダーを開きます。ご利用のPCに合った32bitOS用、64bitOS用のどちらかのフォルダーを開きます。
 - ご利用PCのOSが32ビット版か64ビット版かご不明な方は次項をご参照ください。
2. [setup.exe]ファイルを実行します。
※ 拡張子が異なる[Setup.msi]ファイルと間違えないようにしましょう。



1. 準備

1-4.ご利用PCのOSのビット数の確認方法



1. [スタート]ボタンを右クリックします。
2. さらに [システム] をクリックします。
3. 表示されたウインドウ内の
(左図③) [システムの種類] 表記を確認します。

*左図の場合、64ビットオペレーティングシステムであることが確認できるため、Cards R Uploaderのインストーラーは64bitOSのものを選択します。

1. 準備

1-4. Cards R Uploaderのインストール (2/4)

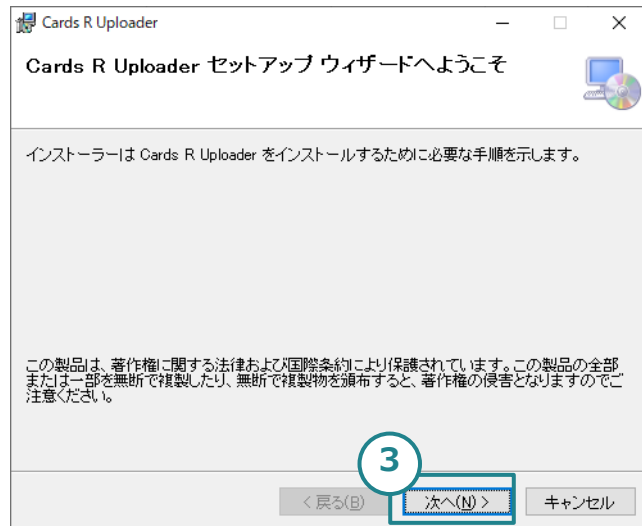


- Cards R Uploaderのsetup.exeをクリックすると、はじめに[Microsoft .NET Framework 4.6.2]のインストール画面が表示されることがあります。

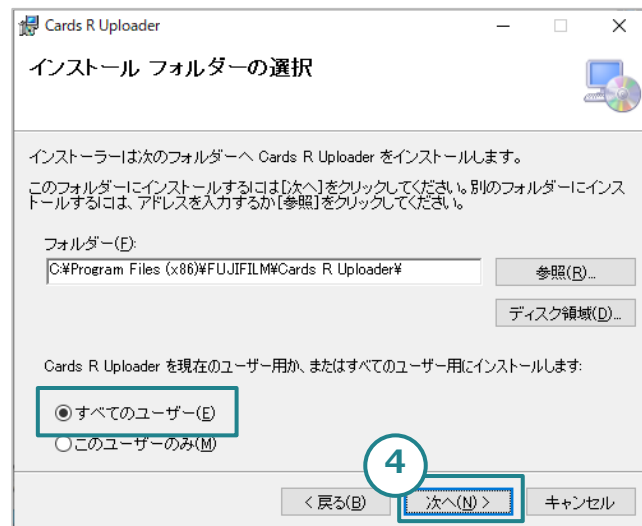
Cards R Uploaderを実行するには、.NET Framework 4.6.2以降が必要です。ライセンス条項を確認いただき、[同意する]ボタンをクリックしてください。

1. 準備

1-4. Cards R Uploaderのインストール (3/4)



3. セットアップウィザードが開始されますので画面に従って進みます。

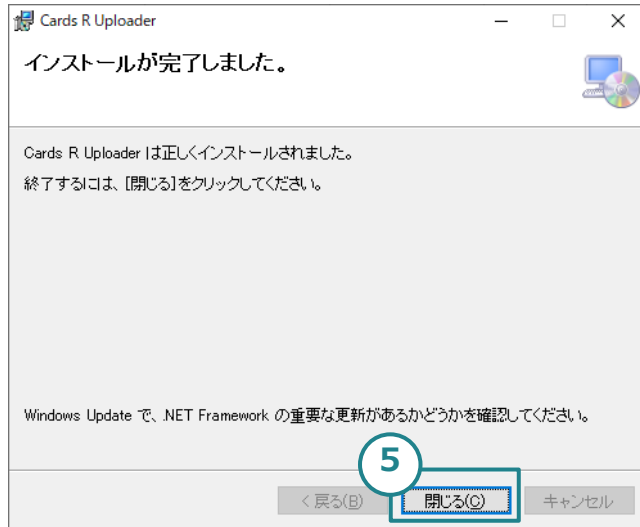


4. [インストールフォルダの選択]画面で、[すべてのユーザー]が選択されていることを確認し、[次へ]を選択します。

[このユーザーのみ]を選択した場合、インストールしたWindows管理者以外のユーザーでWindowsにサインインするとCards R Uploaderをご利用いただくことができません。

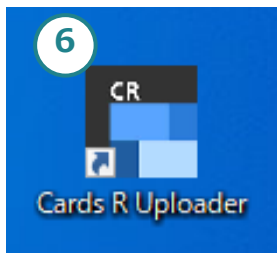
1. 準備

1-4. Cards R Uploaderのインストール (4/4)



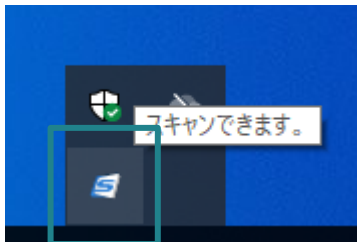
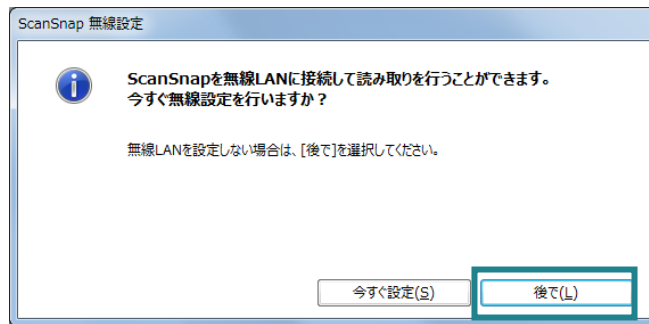
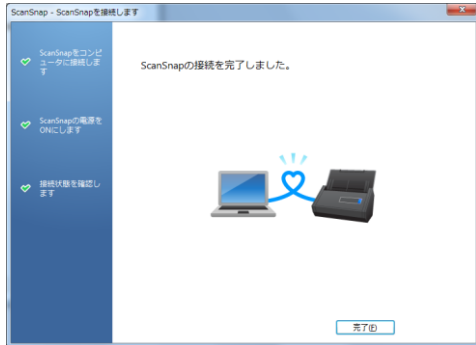
5. インストール完了画面まで進み、[閉じる]ボタンをクリックしたら、インストールは完了です。

6. デスクトップにショートカットが作成されます。起動するは、このアイコンをダブルクリックします。



1. 準備

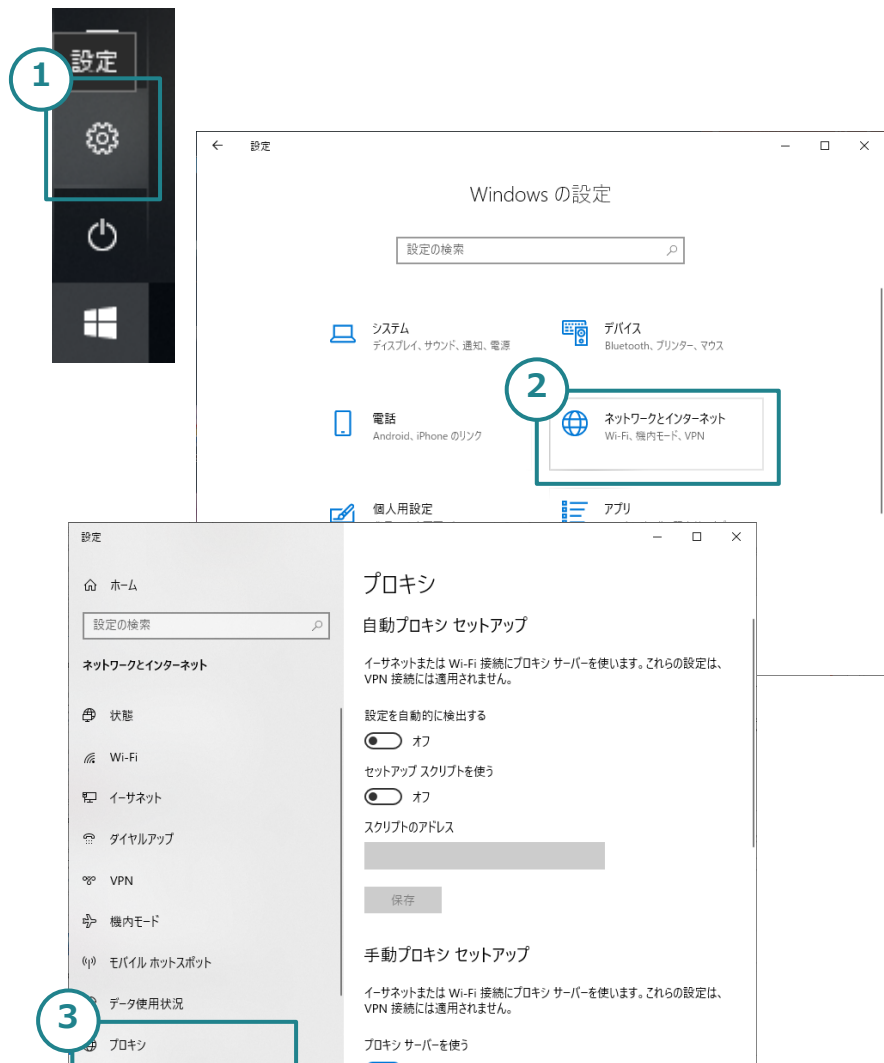
1-5. ScanSnap Home または ScanSnap Managerのインストール



- ダウンロードしたScanSnap HomeまたはManagerのインストールファイルを実行し、ダイアログに従って進みます。
 - ※ScanSnap HomeまたはManagerのインストールに関しては、株式会社PFUのHPをご参照ください。
 - [ScanSnapの接続を完了しました]が画面に表示され[完了]ボタンをクリックすると、無線設定画面が表示されますので[後で]をクリックします。
- 【注意】 ScanSnapを無線LANで接続した状態は、Cards R Uploaderのサポート外環境となります。必ず[後で]をクリックしてください。**
- インストールが完了すると、PCのタスクバーにScanSnapのアイコンが表示されます。アイコンの色が青色になっていれば使用可能です。

1. 準備

1-6. プロキシサーバーの設定方法



プロキシサーバーを経由してインターネット接続する場合、Windowsに設定が必要です。

1. 画面左下の [スタートメニュー] をクリックしてスタートメニューを開き、[設定]アイコンをクリックします。
2. 設定ウィンドウが開いたら、[ネットワークとインターネット] をクリックします。
3. 左側の [プロキシ] をクリックすると、プロキシサーバーの設定画面が表示されます。設定は、御社のインフラ等担当者に確認します。設定完了後、[保存]ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

1. 準備

1-7. プロキシ認証の指定

プロキシ認証

お客様ネットワークのプロキシサーバより認証が求められました(407)

ユーザー名とパスワードを入力してください

ユーザー名

パスワード

認証

プロキシサーバを経由したネットワークの場合、プロキシサーバより認証が求められることがあります。

プロキシ認証ポップアップが表示された場合、プロキシサーバへの認証ユーザー名とパスワードを入力し、[認証]ボタンをクリックしてください。

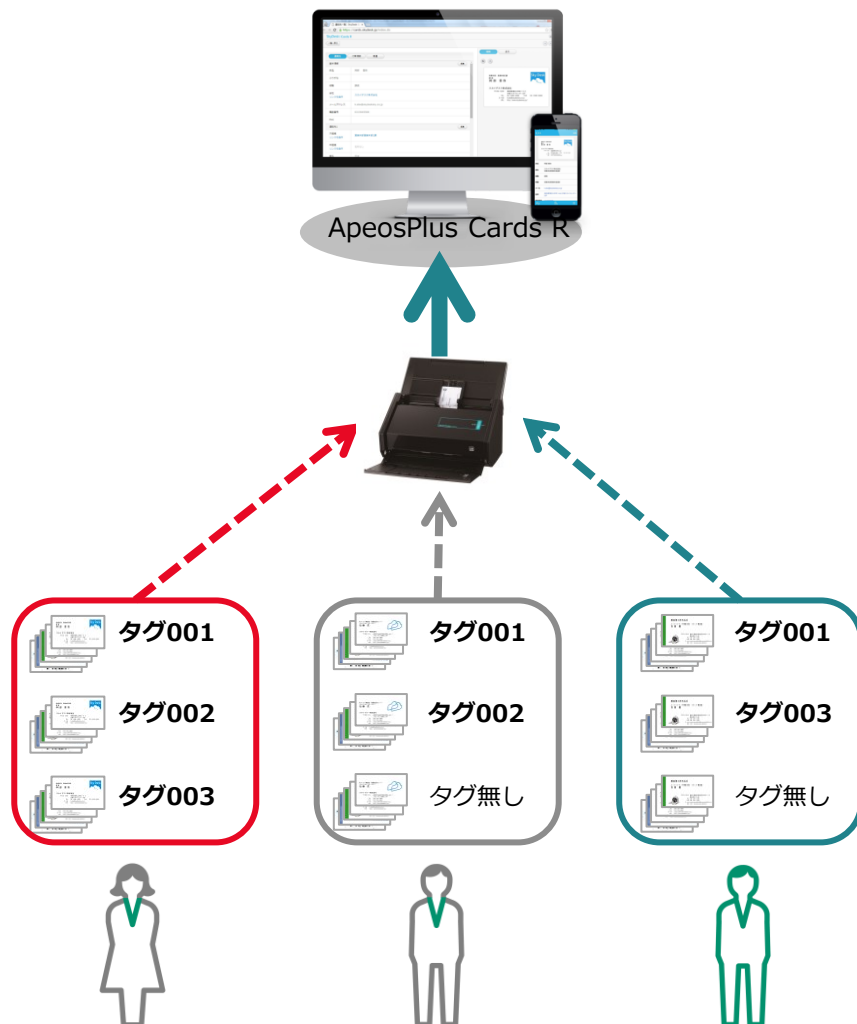
* 認証プロキシサーバをご利用でない場合は、認証ポップアップが表示されることはありません。

* お客様のプロキシサーバの認証方式によっては、ご利用できない場合があります。

1. 準備

1-8. 名刺の準備

アップロードするために、以下の手順で名刺を分類しておきます。



1. 名刺は所有者ごとに分類します

所有者を指定して名刺画像を一括アップロードします。特に代理作業者が数人分をまとめて実施する場合、忘れずに行いましょう。

2. 名刺に付与するタグごとに分類します

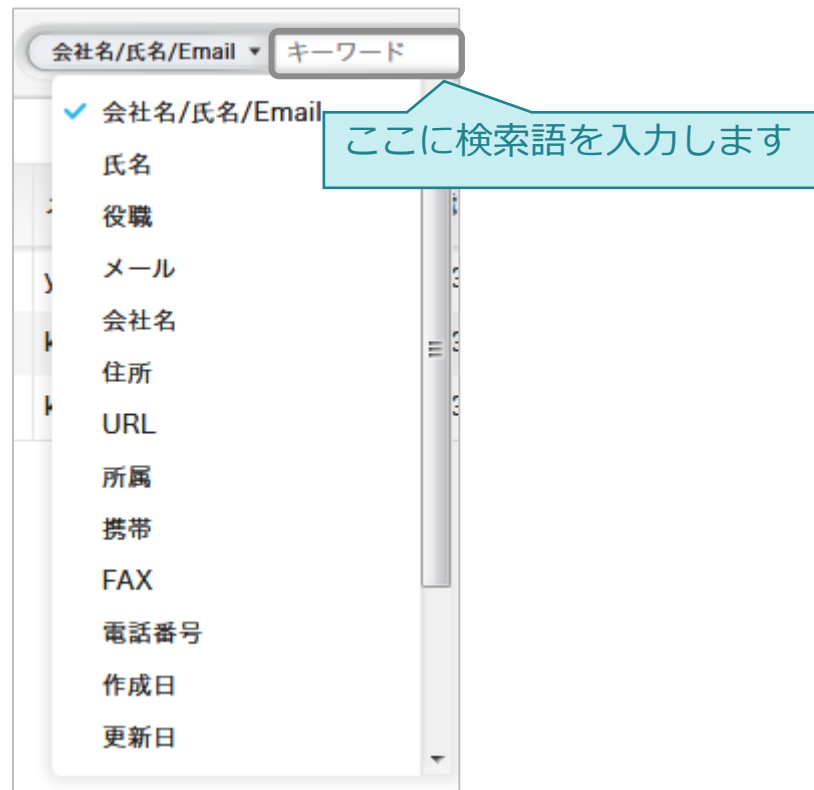
最大3つまでの組織タグを付与しながら一括アップロードすることができます。

3. 読み取り面を揃えます

すべての名刺の表面を揃えてスキャンします。（次頁に詳細説明あり）

1. 準備

一覧で連絡先を検索する場合



【スキャン時の読み取り面】

両面、多言語の名刺では、どちらの面を「表面」とするか、組織内でルールを決めておきましょう。

例)

日本語面+英語面 → 「日本語」を表面

中国語面+英語面 → 「英語」を表面

韓国語面+英語面 → 「英語」を表面

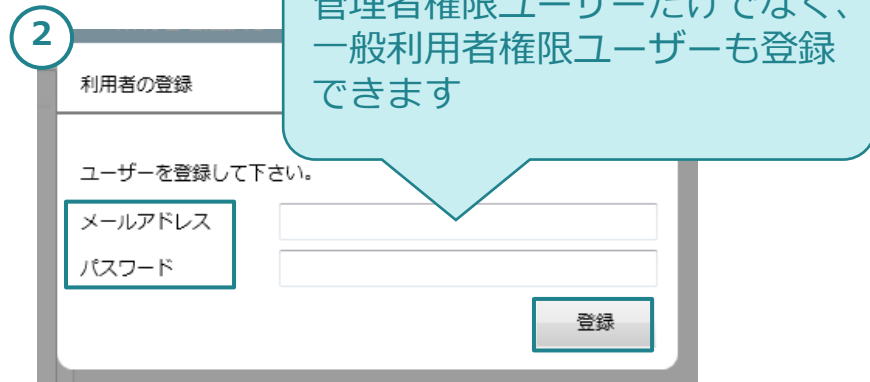
Cards Rでは、名刺表面の情報をテキスト化して連絡先に登録します。（裏面は画像のみ登録）

連絡先を検索する際、組織内のメンバー全員が中国語、韓国語を検索語として入力出来る環境にあるとは限りません。組織メンバー全員が検索できるよう、日本語または英語を「表面」として登録することをお勧めします。

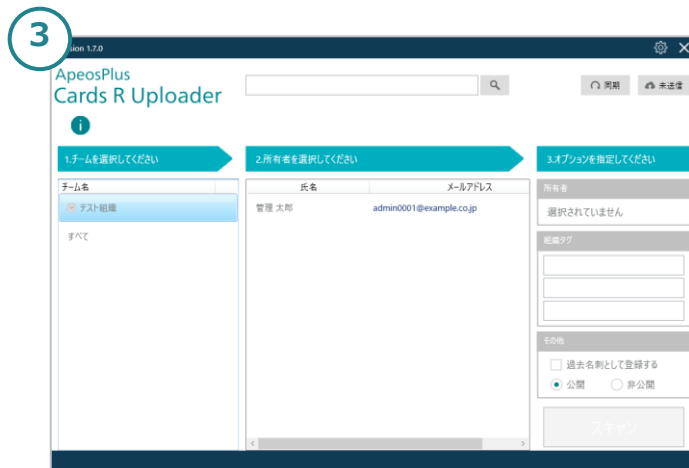
2. 利用者の登録



Cards R組織の利用者を[Cards R Uploader]に登録します。登録後、[Cards R Uploader]をご利用できるようになります。



1. デスクトップの[Cards R Uploader]ショートカットをダブルクリックします。
2. [利用者の登録]画面に、Cards Rユーザーのメールアドレスとパスワードを入力し、[登録]ボタンをクリックします。
3. [Cards R Uploader]の操作画面が開き、利用者が所属する組織ユーザーの一覧が表示されます。



*2段階認証が設定されているユーザーは登録できません。
*パスワードの変更が要求されているユーザーは登録できません。

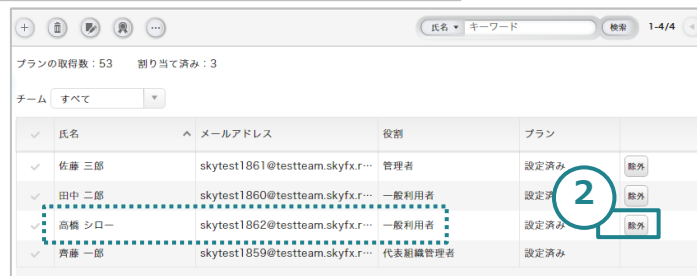
⚠ 「DB書き込み権限がありません。Windows管理者アカウントで実施してください」が表示された場合は「6-1.利用者登録・クリア時のエラーについて」をご覧ください。

2. 利用者の登録

組織ユーザーに変更があった場合

Cards R Uploaderを起動中に、ユーザーを組織から除外またはプランの割り当てを解除した場合、同期が必要となります。

1. Cards R Uploaderを起動します。
2. 管理者がCards Rの[ユーザー設定]でユーザーを組織から除外またはプランの割り当てを解除します。
3. 除外/解除したユーザーがCards R Uploader上に表示されたままなので、画面右上の[同期]ボタンをクリックします。
4. Cards R Uploaderから除外/解除したユーザーが消え、Cards R本体のユーザー設定と同期されたことを確認できます。



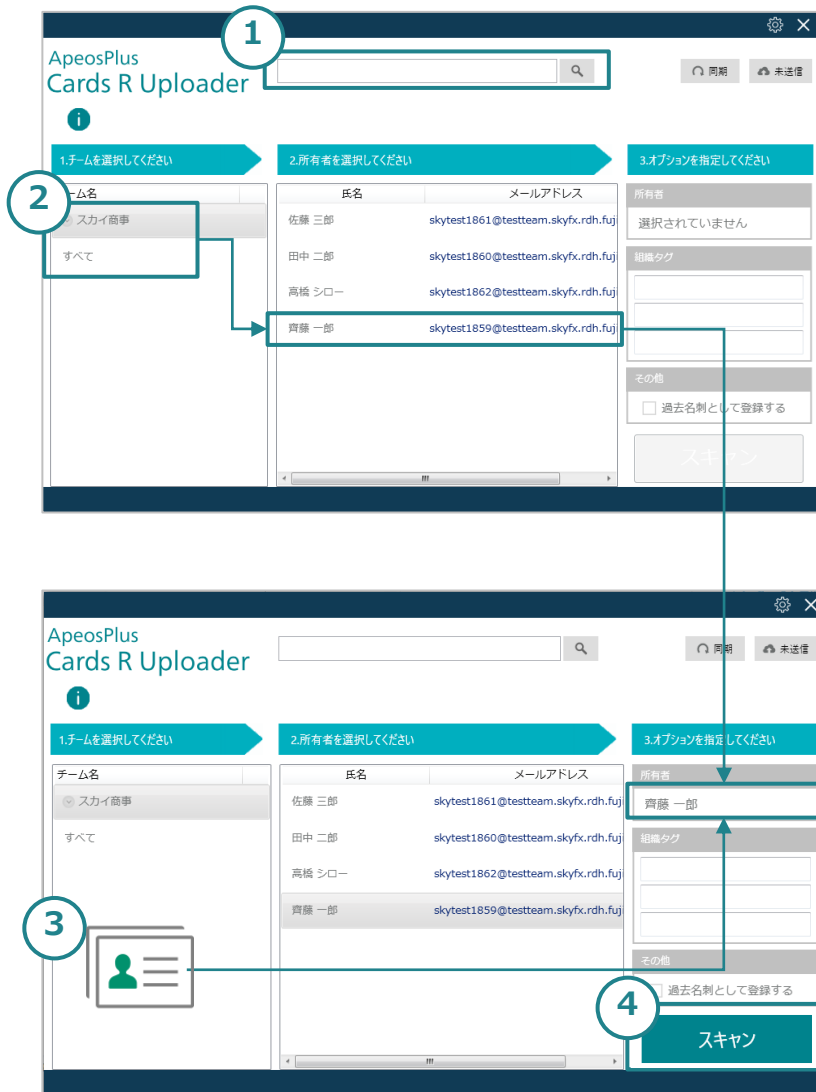
3. スキャン設定

3-1. 名刺の所有者を設定

[Cards R Uploader]の操作画面で、名刺の所有者を設定します。ここで指定した所有者は、Cards Rに連絡先[関連の代表者]としてアップロードされます。

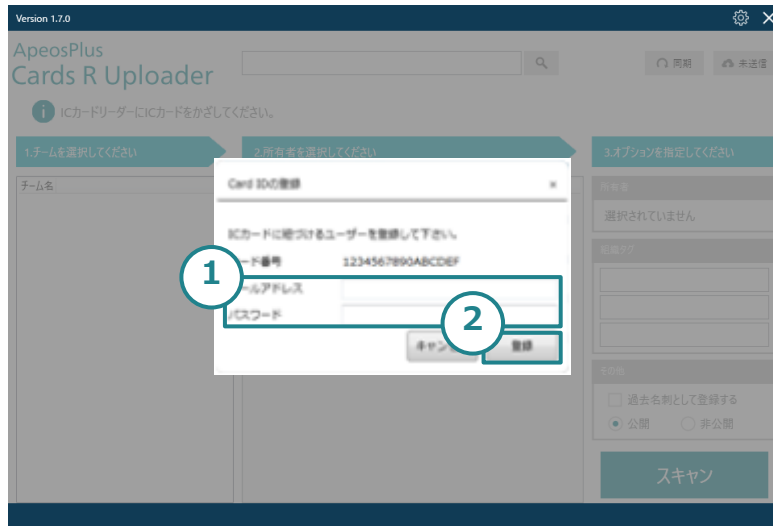
【所有者の指定方法】

1. 検索ボックスに所有者の氏名、またはメールアドレスを入力し、検索アイコンをクリックします。（部分一致検索）
2. チームを選択後、チームのユーザー一覧からユーザーを選択します。
3. ICカードを利用している場合は、ICカードリーダーにかざすと紐付いたユーザーが自動で所有者として設定されます。
4. 所有者を指定すると[スキャン]ボタンが有効になり、スキャンが可能になります。



3. スキャン設定

3-2. ICカードのユーザー登録



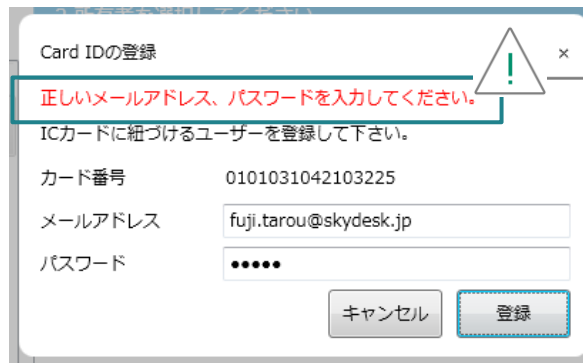
オプションでICカードを利用するには、はじめに ICカードIDとCards Rの組織ユーザーを紐付けます。

【準備】

ICカードリーダーとPCが接続されていることを確認し、Cards R Uploader未登録のICカードをかざします。

1. [Card IDの登録]画面で[メールアドレス]と[パスワード]を入力します。
2. [登録]ボタンをクリックします。

⚠ 該当のCards R組織に登録されていないメールアドレスとパスワードを入力すると、エラーとなります。



3. スキャン設定

3-3. タグの登録

3.オプションを指定してください

所有者
齊藤 一郎

1 組織タグ
関東支社
横浜支店
建設業

ApeosPlus I Cards R

付帯情報

作成日時 2017/02/23 16:57:34

公開設定 公開

有効設定 有効

詳細URL <https://cards.skydesk.jp/index.do?resource>

2 タグ
組織タグ
関東支社 × 横浜支店 × 建設業 ×

個人タグ
+ タグの追加

3 タグ検索

以下すべて キーワード

タグで検索する

タグの整理

すべて付与

検索:

組織タグ
関東支社
横浜支店
建設業

個人タグ

組織で共有するタグ一覧
(タグ検索画面)

オプションとして、組織タグを3つまで設定できます。

- 入力した組織タグ(①)はスキャンした名刺に付与される(②)と同時に、組織に共有(③)されます。
- 一度に3つまでの組織タグを付与することができます。個人タグは設定できません。
- すでにCards Rに登録済みの組織タグと同じタグ名を入力した場合は、既存の組織タグが付与されます。(同じタグが2つ登録されることはありません)

3. スキャン設定

3-4. 過去名刺として登録

3. オプションを指定してください

所有者
齋藤 一郎

組織タグ

1 過去名刺として登録する
 公開 非公開

設定画面 (システム設定)

スマートOCR	
完了時の自動確認	する
完了時の自動名寄せ	する
オペレーター入力	
連絡先追加時に自動で依頼	する
完了時の確認処理	自動名寄せ
完了時の会社の作成	する

オプションとして、スキャンした名刺を過去名刺として登録することができます。

- ①のチェックボックスを有効とすると、自動名寄せ機能によって重複と判断された名刺の過去名刺として登録されます。
- 重複と判断されなかった場合は新しい名刺として登録されます。

⚠ [会社作成のUI確認] が「重複時」または「連絡先の確認時/重複時」の設定で重複会社を検出された場合、自動名寄せや自動確認の処理は行いません。

*このオプションは以下のいずれかの条件に該当する場合のみ適用されます。

条件1 (左図②)

- スマートOCRオプションをご購入の組織でシステム設定>スマートOCR設定欄「完了時の自動確認」を「する」「完了時の自動名寄せ」を「する」の場合

条件2 (左図③)

- オペレーター入力オプションをご購入の組織でシステム設定>オペレーター入力設定欄「完了時の確認処理」を「自動名寄せ」としている場合

3. スキャン設定

3-5. 公開/非公開を設定

その他

過去名刺として登録する

1 公開 非公開

設定画面
(システム設定)

環境設定	
出力ファイルの文字コード	UTF-8
氏名/住所表記設定	日本式
氏名/会社をかなでソート	する
「すべて」一覧の表示形式	一覧表示
名刺交換日の自動入力	する
作成時に連絡先を公開	する
通知機能を利用	しない

オプションとして、スキャンした名刺を公開として登録するか非公開として登録するかを設定することができます。

1. 公開として登録したい場合は、公開を選択（青色のチェック）してください。非公開として登録したい場合は非公開を選択してください。

⚠ 設定画面（システム設定）の「作成時に連絡先を公開」の設定より、Uploaderの設定が優先されます。

4. 名刺のスキキャン

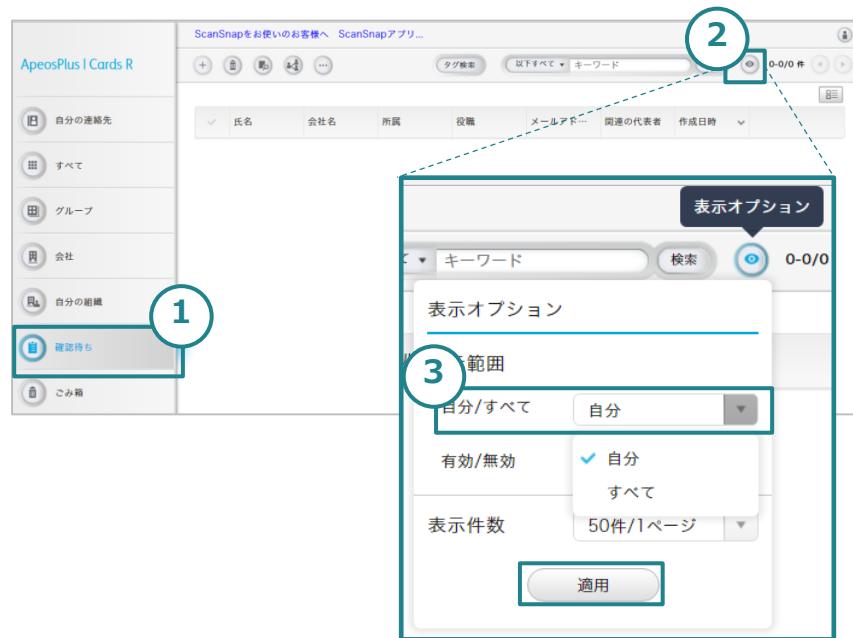


スキキャンを開始します。


1. ScanSnapに名刺の表面を上に向けてセットします。
セットする名刺の上限は20枚程度。
2. Cards R Uploader画面の[スキャン]ボタンをクリックします。
※ScanSnap本体の[Scan]ボタンは押さないでください。
3. 画面が自動で遷移します。
→スキキャンの準備中です。
→スキキャン中です。
→画面がグレーになり[アップロードが完了しました]が表示されます。
4. [OK]ボタンをクリックします。

4. 名刺のスキヤン


名刺取込みの確認



Cards R画面で名刺の取り込みを確認します。

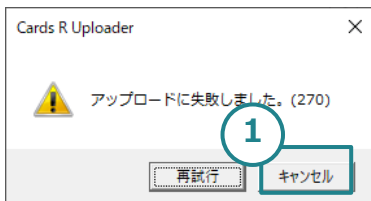
1. Cards R を開き、左ペインから[確認待ち]をクリックします。
※自動的に確認済みとなった連絡先は「自分の連絡先」または「すべて」で確認します。
2. 画面右上にある  ボタン（表示オプション）をクリックします。
3. 表示範囲の[自分]または[すべて]を選択、適用します。
※[すべて]に切り替えると、他ユーザーが所有する名刺も一覧に表示されます。

氏名	会社名	所属	役職	メールアドレス	関連の代表者	作成日時	
河野 裕樹	スカイデスク	営業本部営...		y.kouno@e...	齊藤 一郎	2017/08/0...	確認する
五十嵐 隆	スカイデスク	システムイ...	課長	t.igarashi@...	佐藤 三郎	2017/08/0...	確認する
青木 隼人	スカイデスク	ネットワー...	課長	h.aoki@exa...	高橋 シロー	2017/08/0...	確認する
中山 景子	スカイデスク	営業本部営...		k.nakayam...	佐藤 三郎	2017/08/0...	確認する
富士 太郎	スカイデスク	営業本部	課長 富士	t.fuji@exa...	田中 二郎	2017/08/0...	確認する

 名刺所有者の代理でスキヤンしたユーザーが確認作業を行う場合は、表示オプションの表示範囲を[すべて]でご確認ください。

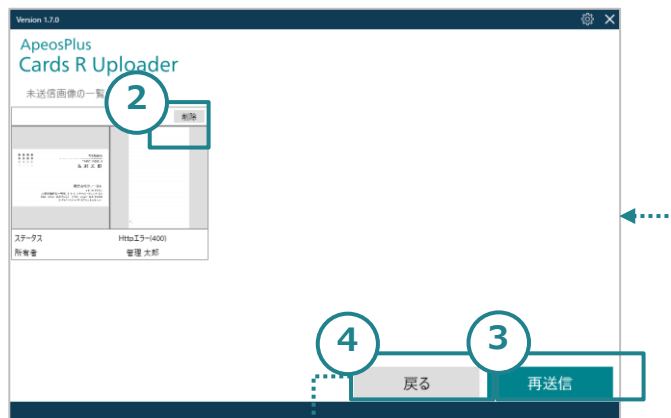
4. 名刺のスキヤン

スキヤン画像のアップロードに失敗した場合：



スキヤンした名刺画像のアップロードに失敗した場合、アップロードのキャンセルを行うと、名刺画像は未送信画像となります。未送信画像は未送信画像の一覧画面で削除、再送信することができます。

1. 「アップロードに失敗しました」が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックします。
2. 「未送信画像の一覧」が表示されます。再送信しない名刺画像は[削除]ボタンをクリックし削除します。
3. 再送信する名刺画像だけを残し、アップロードに失敗した原因を解消したのち、[再送信]ボタンをクリックし、再度アップロードします。



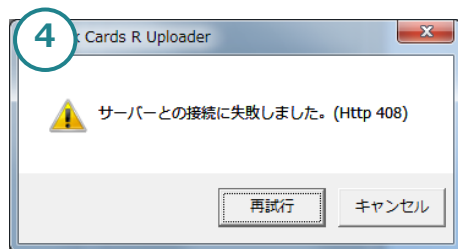
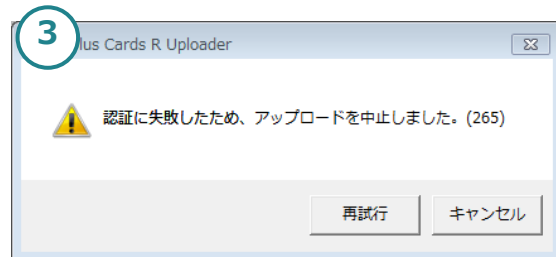
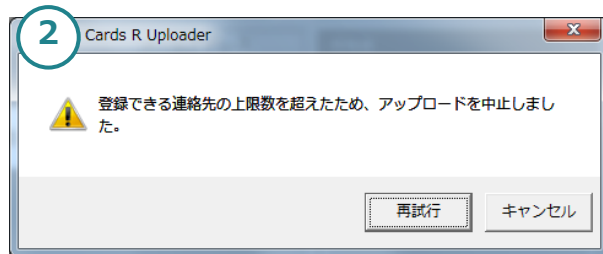
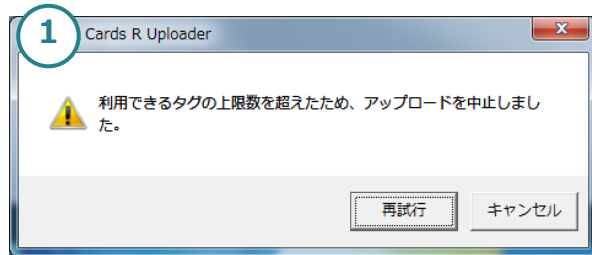
【すぐに再送信しない場合】

4. [戻る]ボタンをクリックします。
5. 後で再送信する場合は、[未送信]ボタンをクリックし、「未送信画像の一覧」から操作します。



4. 名刺のスキャン

スキャンした名刺画像のアップロードに失敗するケース (1/2)

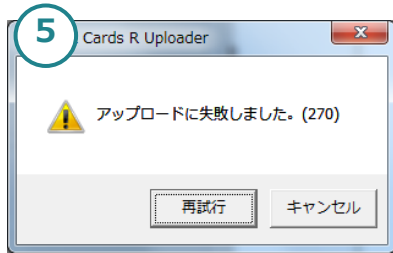


失敗の原因は、以下が考えられます。
原因を解消して再試行するか、キャンセル後に再送信します。

1. 利用できるタグの上限数を超えたため、アップロードを中止しました。
→組織タグは組織あたり300個が上限です。Cards R連絡先一覧画面で不要な組織タグを削除します。
2. 登録できる連絡先の上限数を超えたため、アップロードを中止しました。
→組織で登録できる名刺の枚数（購入枚数）を超えています。代表組織管理者に連絡し、連絡先追加登録のオプションを購入します。
3. 認証に失敗したため、アップロードを中止しました。(265)
→指定した所有者ユーザーが組織から除外されています。キャンセルし、未送信の画像を削除します。Cards R Uploaderの画面に戻り[同期]ボタンをクリックし、同期後の画面から新たな所有者を選択して、再度スキャンします。
4. サーバーとの接続に失敗しました。(Http 408)
→アップロード中にネットワークが切断しました。キャンセルし、ネットワークの復旧後に再送信します。

4. 名刺のスキャン

スキャンした名刺画像のアップロードに失敗するケース (2/2)



5. アップロードに失敗しました。(270)
→指定した所有者ユーザーにプランが割り当てられていません。
キャンセルし、未送信の画像を削除します。
Cards Rの[ユーザー設定]で所有者ユーザーにプランが割り当てられているか確認します。所有者ユーザーにプランが設定済みであることを確認し、再度スキャンします。

5. アプリケーションの設定

5-1. 利用者の登録状況(1/2)

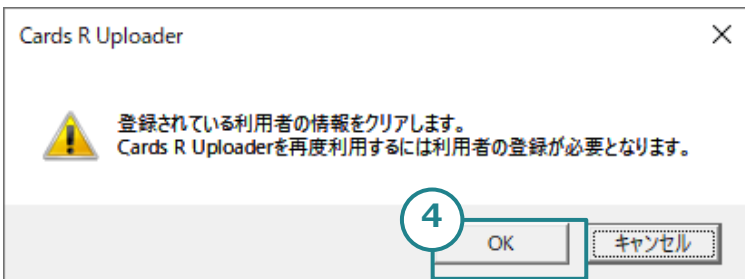


1. Cards R Uploaderの画面右上にある[設定]ボタンをクリックするとアプリケーションの設定画面が開きます。

【利用者の登録状況】



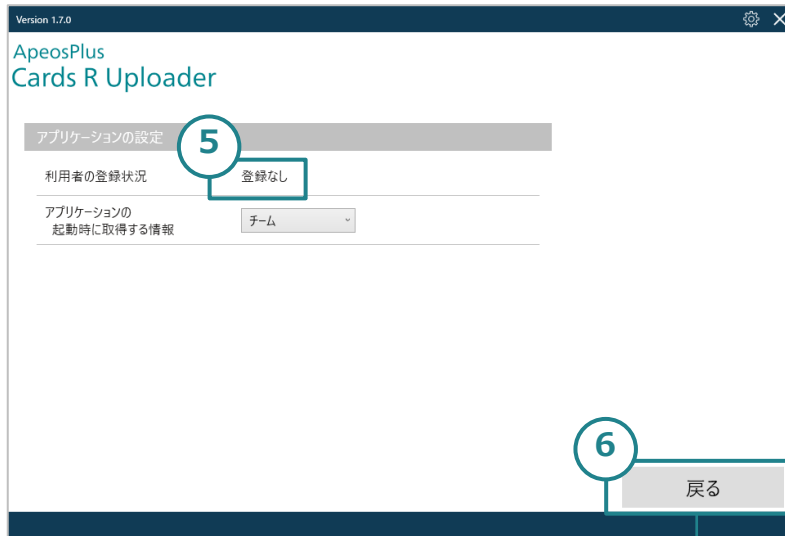
2. Cards R Uploaderの利用者登録を行った際、利用者アカウントに認証トークンが登録され、その下5桁が表示されます。
3. [クリア]ボタンをクリックすると、登録した利用者の情報をクリアします。
4. 確認画面で[OK]ボタンをクリックすると、登録した利用者が解除されます。



⚠ 「DB書き込み権限がありません。Windows管理者アカウントで実施してください」が表示された場合は「6-1. 利用者登録・クリア時のエラーについて」をご覧ください。

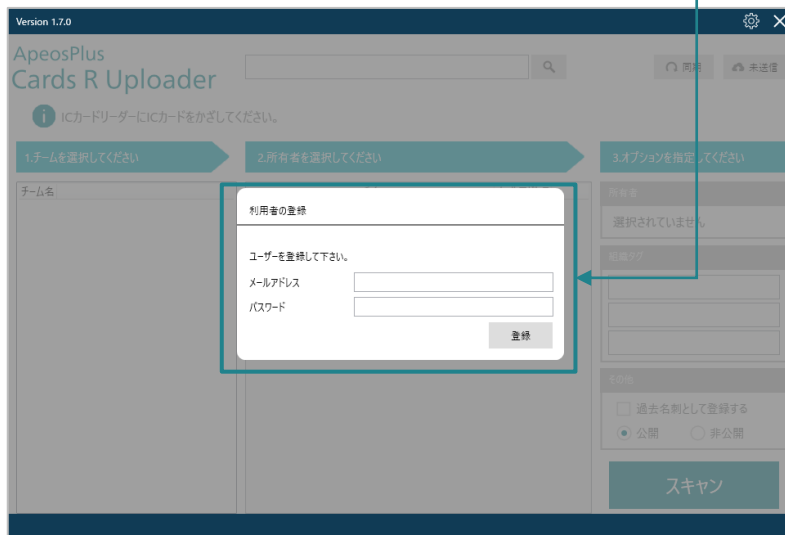
5. アプリケーションの設定

5-1. 利用者の登録状況(2/2)



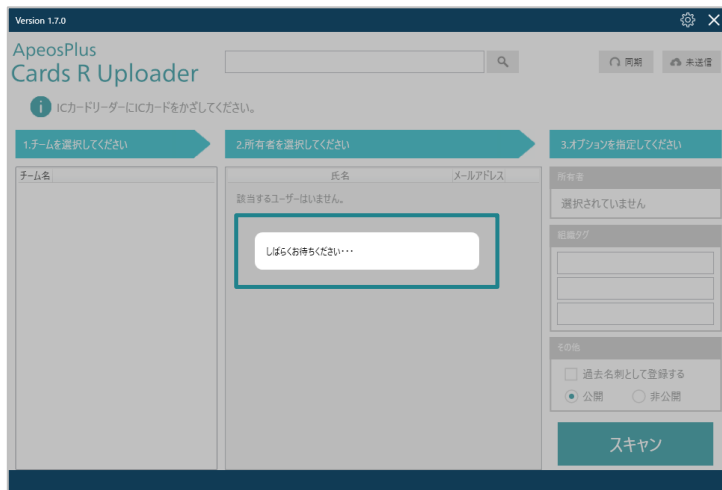
5. 設定画面に戻るので、利用者の登録状況を確認すると[登録なし]となっています。
6. [戻る]ボタンをクリックすると、新たな[利用者の登録]画面が表示されます。

※新しい利用者の登録はこの画面で行うか、次回のCards R起動時に行います。



5. アプリケーションの設定

5-2. アプリケーションの起動時に取得する情報



Cards R Uploaderを起動すると、チーム情報やユーザー情報の取得が完了するまで「しばらくお待ちください」と表示されます。

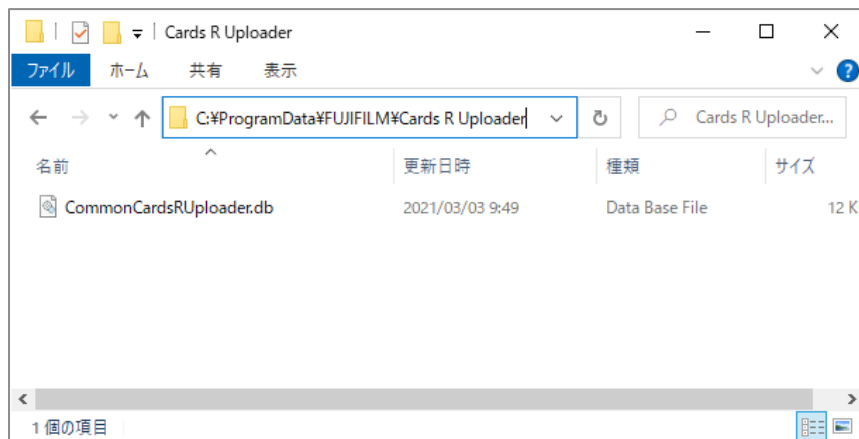
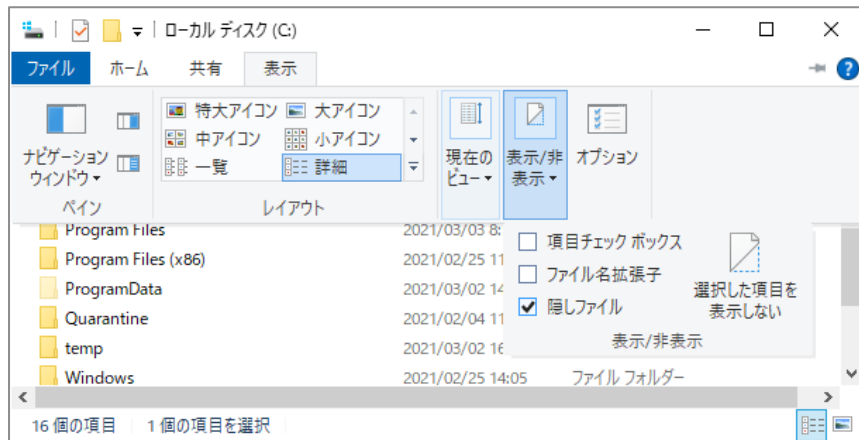
- [チーム]設定時（初期値）
起動後、すべてのチームと、組織チームのユーザーを取得します。
その後、各チームの初回選択時、新たにユーザーを取得します。
- [チームとユーザー]設定時
起動後、すべてのチームと、すべてのチームのユーザーを取得するので「しばらくお待ちください」が長めの表示になります。各チームの初回選択時、すぐに最大50人分のユーザーを表示します。



※ユーザー数やチーム数の多い組織では、初期値[チーム]のまままでのご使用をお勧めします。
※設定は次回の起動時より反映されます。

6. 困ったときは (Q&A)

6-1. 利用者登録・クリア時のエラーについて



Cards R Uploaderにて利用者登録を実施したWindowsアカウントと異なるアカウントでWindows PCにログインし、利用者の情報を「登録」または「クリア」すると「DB書き込み権限がありません。Windows管理者アカウントで実施してください」が表示されることがあります。

この場合は次の手順でCommonCardsRUploader.dbを削除してください。

1. Cards R Uploaderが起動中の場合、[x]をクリックしてCards R Uploaderを終了します。
2. エクスプローラーを起動し、[表示]>[表示/非表示]>[隠しファイル]にチェックを入れ、Cドライブ直下のProgramDataフォルダーを表示します。
3. エクスプローラーで、C:¥ProgramData¥FUJIFILM¥Cards R Uploaderにアクセスします。
4. 「CommonCardsRUploader.db」を削除します。
5. [表示]>[表示/非表示]>[隠しファイル]にチェックを外します。
6. Cards R Uploaderを起動します。
7. 利用者登録のポップアップが表示されますので、利用者を登録します。

Appendix : リリースノート

更新日	バージョン	内 容
2017/04/28	1.0.0	初回リリース
2017/05/17	1.0.1	・重なり検出後のスキャン実施での不具合修正
2017/05/31	1.0.2	・管理者のAuthTokenを共有 ・スキャン画像やアップロード情報、ログ出力を各ログインユーザ毎に管理
2017/08/08	1.4.0	・バージョン情報を旧版から引き継ぎ ・プロキシ認証に対応
2017/11/24	1.5.0	・一般利用者でも登録が可能 ・設定画面を追加 ・[過去名刺として登録]オプションを追加
2018/12/17	1.5.1	・ScanSnap Homeへの対応、及びその注意制限事項に関して記載
2019/02/05	1.5.2	・[公開/非公開]オプションを追加
2019/10/15	1.6.0	・新システム基盤対応
2021/04/01	1.6.2	・商品名変更に対応 ・ScanSnap 機種を追加
2021/07/01	1.7.0	・社名変更対応
2021/10/15		・動作環境を追記し、Windows 11への対応を記載
2022/03/11	1.7.1	・動作環境を修正し、.NET Framework 4.6.2以降への対応を記載

FUJIFILM
Value from Innovation